

地震に備えて「わが家の安全点検」をしましょう

巨大地震のはげしい揺れは、家屋を倒壊させるおそれがあります。特に古い家屋で耐震性に問題があれば、補強工事や事前の避難などの対策を行いましょう。

わが家の「耐震性」をチェック

☐ CHECK 1 建築年は？

建築基準法が改正され、耐震基準が強化されたのは1981(昭和56)年6月。それ以前に建てられていれば耐震性が低いおそれがあります。

☐ CHECK 2 過去の災害履歴は？

過去に地震・風水害・火災などの災害に見舞われていると、外見からはわからないダメージを受けている場合があります。

☐ CHECK 3 地盤の強度は？

軟弱な地盤に家が建っていると同じ震度の地震でも揺れが大きくなります。埋立地・低湿地・造成地、地下水位が高く液状化の危険性がある地盤などは注意が必要です。

☐ CHECK 4 基礎の種類は？

基礎は建物と一体となって地盤の揺れに抵抗します。鉄筋コンクリート造りの堅固な基礎で、建物としっかり一体となっていれば強い基礎といえます。

☐ CHECK 5 壁の配置は？

木造住宅は壁が多いほど揺れに強いと考えられます。また壁が東西南北すべての面に配置されていることも大切。一面がほとんど窓などのときは注意が必要です。

☐ CHECK 6 建物の形は？

平面的にも立体的にも、凹凸の少ない単純な形の建物は比較的安全です。凹凸の多い複雑な建物や、大きな吹き抜けがある建物は注意が必要です。

☐ CHECK 7 老朽度は？

基礎が腐っていたり、シロアリによる被害があったりする建物は非常に危険です。特に台所や浴室は要チェック。また、建具の立てつけの不具合、柱や床の傾きなども老朽化が考えられます。

●下記のサイトでも簡易耐震診断ができます

日本建築防災協会

「誰でもできるわが家の耐震診断」

http://www.kenchiku-bosai.or.jp/seismic/wagayare/taisin_flash.html

●各自治体では、耐震診断や補強について、費用や事業者選びのサポートをしています。まずは、お住まいの自治体に問い合わせてみましょう。

わが家の「周囲」をチェック

☐ 屋根

屋根瓦にひび割れ、ずれなどがあれば補強し、アンテナもしっかり固定する。

☐ 窓ガラス

飛散防止フィルムを貼る。強化ガラスにするとより安全に。

☐ 玄関まわり

避難のさまたげとなる自転車や植木鉢などを置かない。古新聞など燃えやすいものを置かない。

☐ ベランダ

常に整理整頓し、落下する危険のあるものは配置を変えるか固定する。

☐ プロパンガス

しっかりとした土台の上に置き、チェーンなどでしっかり固定する。

☐ ブロック塀

ひび割れや傾きがあれば修理し、土中に基礎部分がないものや鉄筋が入っていないものは補強する。

